

会長の時間 岡田 義則



【クリスマス】

クリスマスの食べ物には意味があった!?

クリスマスの食べ物って、なんでこれを食べるの?と疑問に感じたことないですか!?

例えば、日本ではクリスマスにケンタッキーを食べるという家庭が多いですね。

クリスマス=チキンという認識がなぜだか自然と広まっています。当然ですが、11月頃になるとテレビCMではケンタッキーフライドチキンの露出が非常に多くなります。

日本でなぜ、ケンタッキーがクリスマスに食べられるようになったかといいますと、単純に企業によるマーケティングによるものです。

日本ではまだクリスマスが浸透してから100年も経過していないほど、浅い歴史です。

そこに目をつけたのがロータリアンでもあるカーネルサンダースでした。ケンタッキーフライドチキン社は、「日本のクリスマスはケンタッキーを食べよう!」という認識を広めていったのです。

単純に、ケンタッキーのフライドチキンには意味はなく、うまいことケンタッキー社のマーケティングに載せられてしまったわけですね。

ケンタッキーフライドチキンといえばアメリカの企業ですが、アメリカではクリスマスにケンタッキーという認識は全くと言っていいほどないみたいです。

日本では七面鳥は馴染みのない食材ですが、アメリカではスーパーマーケットに普通に並んでいる食材だそうで、価格も安価なので家庭料理としても愛されているそうです。

クリスマスだから、特別にターキーを食べるのではなく普通の食卓にも出てくることのあるほど、親しまれている食材なのです。

では、クリスマスにケーキを食べる理由は!?

アメリカではクリスマスにケーキを食べるといのは必ずしも決まりではないそうです。

日本では、クリスマスにピザを食べないのと同じように、アメリカではケーキは買わない家庭も多いそうです。ということは・・・これも日本の企業によるマーケティングなのです。

日本にアメリカからクリスマスの文化が来たときにいち早く目をつけたその会社はペコちゃんでおなじみの不二家なのです。

この不二家のおかげで日本のお菓子メーカーは毎年冬のケーキやアイス等の売上を伸ばすことができるので、素晴らしい貢献といえば貢献になりますよね。

こうしてクリスマスの習慣や文化を紐解いていくと、歴史とは全く関係なく企業のマーケティングが関係していることがわかりますね。

【会長のウンチク】

今、南相馬で特産物にしようと取り組んでいる野菜「ロマネスコ」

原産地はローマ周辺とされていて名前の由来はローマからきているそうです。形状はフラクタル構造といってクリスマスツリーのような感じです。基本的には、ブロッコリーやカリフラワーと同じ種類です。食感は、カリフラワーに近く、味は、甘みもありブロッコリーに近いです。癖がなく、食べ易いので様々な年齢の方が楽しむことが出来ます。茎もスライスして炒めたり、グラタン等に入れて食べることもお勧めです。鮮度が良いものは柔らかく、生でも食べられる程ですが保存する場合は、ラップに包んだ後ビニール袋等で野菜室にて入れます。また、小房を一つ一つラップに包み冷凍保存も重宝します。

会員卓話「職業奉仕セミナー報告」 野地庄蔵 会員



9月14日(土)13時から郡山ユラックス熱海で職業奉仕委員会セミナーが開催され、会長、幹事、職業奉仕委員会にかかわっている方が参加しました。以前地区の職業奉仕委員長を務めました会津若松中央 RC の福西宜孝氏「職業奉仕を人生論として語ろう」-職業奉仕に誘うものは何なのか-、現在地区職業奉仕委員会副委員長を務めています郡山 RC 初瀬照夫氏「職業を通して人間性を磨き自分の職業の社会的地位を高めよう」2つの講演がありました。福西氏の講演の報告をします。初めに、職業奉仕の具体例を 羽田空港掃除員 A さんの例(NHK で放映された

例)と観光バス添乗員 B さんの例を説明され 2つの例の共通するものは、職業奉仕のあらわれである。職業の基本は、自分及び家族の生計の糧を得る事にあり。職業上の利益がなければ社会奉仕 次に職業奉仕の「ロータリーの目的」との関連を説明されました。3番目に職業奉仕を基本と考えるべきなのか、その根拠の検討を説明され、ひじょうに納得のいくお話しでした。ロータリーは、主として職業人から成る団体。その設立権威からも、職業人が構成員。職業人は、仕事を行う際、①いかに利益を上げるかということと、②職業論理上問題がないかということに拝領。即ち、①採算性と②論理性をすりあわせながら、職業上の様々な行為を行っている。両社を意識してうまく調和させながら仕事をしている。宿命である。職業人は、通常、休日のをぞいて毎日仕事に従事。「職業奉仕」に直面することであるから、職業人は、日常的に「職業奉仕」という問題にむきあわざるを得ないことになる。当たり前のことなのですが、意識したことがなかったもので、考えさせられました。最後に職業奉仕への誘うものは何かということで、アーサー・フレデリック・シェルドンの職業奉仕論と転職論に基づく職業奉仕論(プロテスタンティズムの職業奉仕論)の検討、愛に基づく職業論理運動としての職業奉仕論の検討の話があり従来の職業奉仕論における職業奉仕への説明をされました。「生きることの意味」の充足とその必要性という2つの例で説明され、人生は、日々の行動の積み重ね。自分の行動に意味を求めるとすれば、その集積である人生にも意味を求めます。人は、日常生活において「生きることの意味」を意識していない。しかし、死を前にした時、余命宣告を受けた時、自分が人間として生きてきたこと、生きていることの意味を考えざるを得ない。職業奉仕と生きることの意味を見出す価値領域 職業を営むことにより創造価値を生み出すことは、「職業奉仕」につながる。福西氏の職業奉仕に熱い思いを感じました。

1 分間スピーチ 星 遵一 会員

8日間、エチオピアに行ってきました。想像していた以上に開発途上国なんだと見るものすべてに感じる国でした。首都のアディスアベバでも近代的な様子はなく道路なんか舗装されていない所も多々ありました。14時間かけてコーヒの農園にいきました。まわりは、縄文時代をおもわせるような所でした。温暖化がすすんでいて、本来収穫の時期意だったのですが、その様子が見れず残念でした。ごく一部ちいさな学生さんが収穫している所をみる事ができました。真面目で丁寧な仕事ぶりをみて、これが美味しいコーヒになるんだなあと思いました。



幹事報告

1、第8回理事会報告がありました。2、原町中央 RC より「1月のプログラム」が届いています。3、米山記念奨学会より「ハイライト米山 Vol.1.237」が届いています。4、原町青年会議所より2019年度 J C プレス(広報誌)が届いています。5、浪江 RC より「浪江 RC 創立 50 周年記念式典」の御礼が届いています。6、ロータリー財団奨学生推薦について報告がありました。

各委員会報告

1、職業奉仕委員会委員長 野地会員より「職業分類に関するアンケートのお願い」がありました。

<<今週のご寄付 2019 年 12 月 24 日>>

■ロータリー財団 計 8,000./累計 ¥143,779.

■米山奨学会 計 7,000./累計 ¥114,000.

■スマイルボックス報告

出席報告：会員数 29 名 出席数 14 名 出席率 48%

氏名	Smile	コメント
青木謙二	1,000	野地会員 卓話ありがとうございます。
岡田義則	1,000	職業奉仕委員長 セミナー報告ありがとうございます。
小澤積	1,000	野地さんありがとうございます。
川崎博祐	2,000	野地会員 卓話ありがとうございます。
酒井善盛	1,000	令和一年間お世話になりました。良いお年をお迎え下さい
鶴岡恵子	1,000	野地さん卓話楽しみにしています。
野口美佐子	1,000	野地さんの職業奉仕セミナー報告に感謝!
野地庄蔵	1,000	今年一年ありがとうございます。
星遵一	1,000	メリークリスマス!!
南相馬 RC	1,000	1000 円多くはいました!
合計(¥)	11,000	(累計¥321,080)

2019-2020 年度. 東京杉並 RC 家族親睦会

12月19日(木)ヒルトン東京3F「ふじの間」午後6時より東京杉並RC家族親睦会が開催されました。当クラブからは、青田幹事、岡田会長、大谷会員、小澤会員、酒井PG、鶴岡会員、山田会員の7名が参加しました。



南相馬ロータリークラブ

2019-20 年度 会長：岡田 義則 / 幹事：青田 真 例会日：毎火曜日 12:30~13:30
 例会場：ウエディングパーク 原町フローラ 南相馬市原町区高見町 2 丁目 30-6
 事務局：南相馬市原町区旭町 3 丁目 11 TEL 0244-26-7633 FAX 0244-26-7634
 HP <http://www.minamisoma-rc.org/> E-mail minamisomarc@white.plala.or.jp



Since.2007